

野田市は、千葉県北西部に位置し、江戸川や利根川を挟んで埼玉県及び茨城県と接しております。この両県の発展に伴う交通量の増加により、主要地方道つくば野田線及び主要地方道野田牛久線と、市域を南北に縦貫して市街地を分断している東武野田線とが交差する愛宕駅や野田市駅付近は、慢性的な交通渋滞が発生し、都市機能や生活形態に様々な影響が生じておりました。

こうしたことから、東武野田線連続立体交差事業により、愛宕駅、野田市駅の2駅を含む延長約2.9キロメートル区間の鉄道を高架化し、11箇所の踏切除却と交差する幹線道路の整備により、交通渋滞や踏切事故の解消、歩行者等の安全確保を図り、鉄道により分断された市街地の一体化など、安全で利便性の高いまちづくりを進めております。

現在、当連続立体交差事業におきましては、鉄道の営業線高架運行が開始され、交通渋滞や踏切事故が解消されました。

加えて、愛宕駅及び野田市駅の一部が供用開始となり、エレベーター、エスカレーター等の設置によるバリアフリー化が図られ、駅利用者の利便性が大きく向上いたしました。

また、昨年度は事業主体である千葉県において、期間延伸及び事業費の増額等に伴う協議を行い、事業計画の変更認可を頂いたところです。

今年度は、昨年度に引き続き野田市駅の高架橋二期工事を進め、年度内に野田市駅舎の完成を目指し、愛宕駅周辺では、雨水幹線復旧工事及び高架区間の交差道路整備等を進めてまいります。

なお、関連事業につきましては重点事業に位置付け、連続立体交差事業のストック効果を高めるため、土地区画整理事業や街路事業等により、駅前広場や鉄道と交差する道路整備などを積極的に推進しているところです。

以上の状況を踏まえ、国におかれましては、当連続立体交差事業を着実に完成させるため、次の事項について特段のご配慮を賜りたく要望いたします。

一 東武野田線（野田市）連続立体交差事業及び関連事業の計画的かつ円滑な実施のため、必要な道路関係予算を確保すること

令和5年8月25日

野田市長 鈴木 有